

テーマ3 「ギャラリー温泉 町湯」 利用促進と利用者層の拡大

最優秀チーム

庄内ドラゴンズ

- 課題 庄内町に龍のイメージが定着していない。
- 解決策 はっぴーバスや地元タクシーのラッピング、マンホールなどに龍のデザインを取り入れて、日常的に龍を目にする機会を増やす。

- 課題 夏宵まつりのリニューアル。

解決策

- 園児や小学生が龍の被り物をまもって練り歩く。祭りのフィナーレを飾るイベントとして、プロジェクトを実施。龍伝説にちなんだ映像を投影して、飛龍太鼓との共演で盛り上げる。

他のチームからの意見

- 夏宵まつりのルートを変えて、多くの人が見に来やすくする。
- 屋台の出店を増やして賑わいを作る。など



◀現地調査にも行きました

最優秀チーム

町湯鑑定団

- 課題 来館者が伸び悩んでおり、有料のくつろぎスペースの利用者が少ない。(特に平日の日中)

解決策

- 平日向けの囲碁、編み物、生け花などの交流会を開催し、週末には「フリーマーケット」や「季節の祭り」など、町湯主催のイベントを企画する。



課題

- 無料くつろぎスペースがせまい。

解決策

- くつろぎスペースを確保するために建物を増築し、館内に池や植物園を設けてくつろぎやすくする。

他のチームからの意見

- 平日限定のサービスを作る。
- 小中学校や高校の文化部が町湯で交流会を行う。
- 屋台の出店を増やして賑わいを作る。など

庄内総合高校のキャリア教育プログラム

「ふるさと探究」学習

さらに魅力的な町に！

7月17日に庄内総合高校のキャリア教育プログラム「ふるさと探究」学習の発表会が行われました。4つのテーマについて、フィールドワークや情報収集を通して見てきた様々な課題に対して、高校生の視点でアイデアを出し合い、解決策をまとめました。各テーマで最優秀賞に輝いたアイデアをご紹介します。

テーマ4 ふるさと納税返礼品の高付加価値化

最優秀チーム

やまびこ探検隊

- 課題 町のホームページやSNSでの情報発信力を向上させたい。

解決策

- 現在の投稿内容は文字が多く堅苦しく見えてしまうため、文字を減らして写真を取り入れることで、読みたくなる記事を投稿する。
- Instagramで庄内町のきれいな風景などを投稿し、フォロワーを増やす。
- 広報をカラーにする。
- SNSと広報を連携させてプレゼントキャンペーンを実施する。

テーマ2 庄内町の情報発信

- 顔出し看板やキャラクターのオブジェなどでインスタ映えスポットを作る。
- 庄内町のオリジナルキャラクターを作る。

他のチームからの意見

- 町出身の著名人に庄内町を紹介してもらう。
- SNSでコンテストを開催する。など

▼オリジナルキャラクター案



村上げんご

愉快的仲間たち

最優秀チーム

課題

- 返礼品の多くをお米が占めており、他の自治体との差別化が難しい。

解決策

- あえて人気のあるものではなく、「タコ釣り用ルアー」や「Tシャツ」などのマニアックなものに焦点をあてることで、これまでと異なる寄附者層にアプローチする。庄内町の返礼品に特色が出るだけでなく、新たな寄附者の獲得につながる。



- 直接寄附に結び付くかはわからないが「月山山顶の空気の缶詰」を作るなどして、話題になりそうな返礼品を取り扱う。

他のチームからの意見

- お米を使った非常食などを開発して取り扱う。
- リピーターに特別な感謝状を贈る。など